令和元年度事業報告

１．業績の概況

平成から令和への新時代を迎えた本年度は、大手企業の収益が高水準で推移していたことで、国内景気の柱である個人消費や設備投資が増加し、穏やかな景気回復傾向となりました。また、少子高齢化が進む中で事業所では人手不足感が高まっていたことにより、労働需要は昨年度に引き続き強いままでした。ところが、令和２年初頭に中国湖北省武漢市から発生したといわれる新型コロナウィルス感染症は、瞬く間に地球規模で蔓延し、２月から３月は世界経済活動を遮断する猛威を振い、当センターにおいても事業実績に甚大な影響を受けるとみられました。しかしながら、結果は想定外の軽微な影響で済み、契約金額、就業率、会員数とも前年実績を超え、契約金額に至っては第三次中長期計画目標値を達成することができました。

新年度は感染症拡大による未曽有の経済低迷が危惧され、感染ペースや終息時期が不透明であることからダメージの深刻度は予測できませんが、本件の本質的な問題は外出規制などによる需要遮断であり、一旦遮断した需要回復には数か月の時間を要すると推測します。そして、感染症終息後の日本経済復活は、技術革新や人材育成等によって生産性を大幅に向上させるとともに、老若男女・人種を問わず多様な人材に活躍の場を広げて短期間で雇用と需要を喚起することが課題となり、センターもその一助を担うことになると見込みます。

以下、主な事業実績と中長期計画目標達成に向けた取り組み実績について報告いたします。

（1）当期の主な事業実績

① 会 員 数 （正会員） ８５１人
＊前年度 850名、前年対比 100.1%
【中長期計画目標指数880人 （達成率96.7%）】

② 契約金額 （請負・委任） ３６６，９４０千円
＊前年度 362,966千円、前年対比 101.1%
【中長期計画目標指数370,000千円 （達成率99.1%）】

（ 派 遣 ） ７７，７３９千円
＊前年度 70,756千円、前年対比 110.0%
【中長期計画目標指数70,000千円 （達成率111.1%）】

（請負・委任、派遣合計） ４４４，６７９千円
＊前年度 433,722千円、前年対比 102.5%

③ 契約割合 （請負・委任、派遣合計） 公共事業 １４．７%、民間事業 ８５．３%
＊前年度 公共事業 15.2%、民間事業 84.8%

④ 受注件数 （請負・委任、派遣合計） ５，７７１件
＊前年度 5,371件

⑤ 配分金額 （請負・委任、派遣合計） ３７５，９３１千円
＊前年度 370,737千円、前年対比 101.4%
＊就業会員１人当たりの月平均金額 40,951円

⑥ 就 業 率 （請負・委任、派遣合計） ８９．９%
＊前年度（請負・委任実績）89.2%
【中長期計画目標指数90.0%】

⑦　就業実人員　（請負・委任、派遣合計）　７６５人

＊前年度　758人

（２）会員数拡大に向けた取り組み

①　会員１人１入会運動の実施

報奨金制度を導入した「会員１人１入会運動」により新規入会者を取り込みました。

・会員１人１入会運動による新規入会者数：１１人

②　会員募集チラシの隣組回覧の実施

太田市区長会長会議で「カレンダー付会員募集チラシ」の全戸回覧を依頼しました。

・実施期間：６月から毎月３地区づつ（全１６地区、市内全９７，９１２世帯）

③　行政センターだよりへの記事掲載

行政センターが発行する「行政センターだより」に会員募集記事を掲載しました。

・太田行政センターほか市内全１５行政センター

④　新聞折込の実施

上毛新聞ほか主要新聞の朝刊へ「カレンダー付会員募集チラシ」の新聞折込を実施しました。

・実施日：令和元年１２月１日

・配達地域と部数：太田市全域　２０，０００部

⑤　入会説明会の回数と開催場所の追加

市民が入会説明会への参加をしやすくするために、本所で毎月１回（年１２回）としていた説明会を本所と支所で同時開催し、かつ回数も増やしました。

・説明会実施回数：１８回

⑥　市民対象の講習会の実施

６０歳以上の市民を対象とした障子・網戸張替講習会を実施し、参加者に入会を促しました。

・障子の張替講習会：令和２年２月１３日　本所　参加者数１１人

・網戸の張替講習会：令和２年２月１４日　本所　参加者数１２人

⑦　新入会者への優先的な就業紹介

入会登録日に最新の求人票を提示し、新入会員へ優先的に就業先を紹介しました。

⑧　説明会参加者へのアンケート調査

説明会参加者の意見を調査し、運営・広報改善に利用しました。

（３）就業機会拡大に向けた取り組み

①　理事等による企業訪問の実施

事業部会で企画し、高齢者福祉施設へ役員訪問による就業開拓を実施しました。

・令和元年１１月２７日　にらがわの里、もりのいえ

・令和元年１１月２９日　清風園、八瀬川の里

②　公平な就業機会の提供

適正就業を推進し、長時間就業に対してはワークシェアリングで多くの会員へ就業機会を増やしました。

（４）安全就業と適正就業に向けた取り組み

①　安全・適正就業委員による巡回指導等

作業現場の「安全パトロール（巡回指導）」と、事故検証・防止策について協議する「安全委員会」を実施しました。また、７月の安全強化月間には、役員参加による安全パトロールを実施しました。

・安全パトロール：１０回（７月２５日は役員参加安全パトロール）
・安全委員会：１２回

②　安全就業だよりの発行と安全就業ハンドブックの配布

安全就業だよりを発行し、全会員へ安全対策の取り組みや事故状況を提供したほか、安全標語を募集して優秀作品を表彰する安全標語コンクールを実施しました。

・安全だより：年４回発行（７月、９月、１月、３月）
・安全標語最優秀賞：川島嘉吉会員「無理せずに 一歩下がって 見直すゆとり」

新規入会者には「安全就業ハンドブック」で安全に対する意識付けを行いました。

・安全就業ハンドブック：１３１人（冊）配布

③　交通安全講習会の実施

全国的に高齢ドライバーによる事故が多発していることから、太田市交通安全専門員へ依頼し、会員向けの「交通安全講習会」を実施しました。

・交通安全講習会：令和元年７月１８日　宝泉行政センターにて　６４人参加

④　応急手当講習会の実施

就業中の病気やけがに備え、心肺そ生法やＡＥＤの取扱いを学ぶ「応急手当講習会（普通救命講習）」を太田市消防本部へ依頼して実施しました。

・応急手当講習会：令和元年９月１８日　太田市中央消防署　１８人参加
　　令和元年９月２４日　太田市中央消防署　８人参加

⑤　安全就業講習会の実施

事故が多発していることから、県シルバー連合安全指導員を講師に迎え、「安全就業講習会」を実施しました。

・安全就業講習会：令和元年２月１８日　宝泉行政センター　５１人参加

⑥　適正就業ガイドラインに沿った業務運営

厚生労働省と全国シルバー人材センター事業協会がまとめた「適正就業ガイドライン」を会員と発注者へ配布し、適正な受注と就業を周知徹底しました。

（５）普及啓発・社会参加活動の取り組み

①　広報おおたの活用

アンケート結果から「広報おおた」の利活用が最も有効であったことから、センターの情報提供を積極的に行い、市民への普及啓発を図りました。

・掲載号：７月１日号（植木剪定・除草会員を募集します）、１月２０日号（障子・網戸の張替講習会）、３月１０日号（植木・除草作業はシルバー人材センターにお任せください）

②　太田コミュニティＦＭ放送局エフエム太郎の活用

エフエム太郎へちょいとサポート事業の「２０秒ＣＭ」の放送委託をしました。

・平成３１年４月１日から令和元年９月３０日まで　合計２４１回

③　ホームページの活用

　インターネットによる情報発信は広報活動の主流であることから、センターホームページの内容を積極的に更新しました。

・年間アクセス数：３３，０６２件

④　会報なかまの発行

　会報編集委員会の委員が中心となって「会報なかま」を編集・発行し、市内公共施設２２箇所へ設置依頼し、センターの活動内容を周知しました。

・発行：年４回（7月、９月、１月、３月）

⑤　シルバーだよりの発行

　広報おおた特集記事「シルバーだより」を制作して広報へ折込み、センターの普及啓発を実施しました。

・発行日：令和元年１０月１日　８２，０００部

⑥　社会貢献活動の実施

　小雨の中、清掃ボランティア「シルバーの日」には環境美化活動を行いました。

・シルバーの日：令和元年１０月１９日　太田駅南口周辺　参加者数８３人
　　新田庁舎周辺　　参加者数３３人

⑦　リーフレット、ポケットティッシュ等の配布

　広報部会と編集委員会がイベント等に参加し、普及啓発活動を実施しました。

・令和元年１１月１０日　ニコモール新田にて　配布活動
・令和２年１月２９日　太田市社会福祉大会　パンフレットへの折込
・令枝２年２月１９日および２０日　太田市老人福祉文化祭　配布活動

⑧　太田市高齢者支援サービス事業「ちょいとサポート事業」の受託

　社会参加活動として、高年齢者世帯の生活の充実と日常のちょっとした困りごとを解決する「ちょいとサポート事業（ちょいサポ）」を太田市から受託しました。

・受託件数：１，０８８件（目標数９６０件）
・ちょいサポ隊会員数：７７人

（６）会員の技能及び資質の向上に向けた取り組み

①　講習会の実施

　会員の帰属意識を深めて様々な見識を深めるために講習会を実施しました。

・はじめてのスマホ教室（３講座セット）
　講　師：業者委託
　実施日：①基礎講座　令和元年１２月１３日　宝泉行政センター　１３人参加
　　②検索講座　令和元年１２月１６日　宝泉行政センター　１３人参加
　　③LINE講座　令和元年１２月１８日　宝泉行政センター　１３人参加
・剪定・整枝講習会（群馬県シルバー連合助成事業）
　講　師：業者委託
　実施日：令和２年２月２０日、２１日　群馬県緑化センター（邑楽町）
　　※経験年数３年以下の植木会員を対象に１２人参加

（７）組織運営体制の強化に向けた取り組み

① 専門部会（総務部会、事業部会、広報部会）の活動

役員で構成された３部会各々が委員会を開催して、センターの運営について協議しました。また、県連合会主催の研修会へ参加して役員としての見識を深めました。

総務部会では、全国のシルバー会員の男女比と比べて太田市の女性会員の比率が低いことがあげられ、女性会員の増加入会促進を目的に女性会員の集いを開催し、女性の就業について協議しました。

事業部会では、身体的な衰えを起因とする事故が多発していることから、筋力維持のための方法を取得する講座を企画しました。さらに、就業開拓が必要であるとの認識から、役員による事業所訪問も企画実施しました。

広報部会では、普及啓発活動としてリーフレットとポケットティッシュの配布活動を実施しました。

・「令和元年度連合安全大会」令和元年１２月１０日　群馬県社会福祉総合センター
・「女性会員の集い　ランチ会」令和２年２月４日　ダニエルハウス（飯田町）
　女性会員２０人参加
・「筋肉貯蓄体操体操教室」令和２年３月３日　太田市総合健康センター（飯塚町）
　１８人予約　※新型コロナウィルス感染症拡大予防のため中止としました。

② 厚生会との連携

連携強化のため、職員が厚生会主催各種イベントに参加して交流を深めました。

（８）その他

① 他県シルバー人材センターの視察受入

全国各地からの視察要請を受け入れて様々な情報交換と交流を図りました。

・愛知県豊川市シルバー人材センター　令和元年１０月２４日　ちょいサポについて
・埼玉県鴻巣市シルバー人材センター　令和２年２月２０日　安全就業について

② 全国表彰受賞（会長表彰、安全就業優良賞）

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）会長表彰基準により、顕著な功績又は模範として推奨に値する業績があったセンターの理事長として久保田幹雄理事長が表彰されました。

また、全シ協の安全就業優秀・優良シルバー人材センター選定基準により、①直近３年度の間において、就業途上事故以外の事故による死亡、第１級及び第２級後遺障害の発生がないこと。②就業途上事故による死亡、第１級及び第２級後遺障害の発生がないこと。③長期入院及び長期通院を要するような事故が極めて少ないセンターであること。④安全委員会等を設置し、安全就業への取り組みについて積極的に行っているセンターであること。以上を満たしているセンターとして選定されました。

本年度は、全国表彰ダブル受賞となる名誉を頂きました。

表 彰 日：令和元年６月２０日「令和元年度全シ協定時総会」
表彰会場：中野サンプラザホール（東京都中野区）
・「会長表彰」　公益社団法人太田市シルバー人材センター　理事長久保田幹雄
・「安全就業　優良賞」　公益社団法人太田市シルバー人材センター